



空を想い、技術を極め、環境社会を創る。



Power Supply Business



Maintenance Business



Supplementary  
Equipment Business



Plant Factory Business



Business Aircraft  
Supporting Business

第51期 第2四半期のご報告  
IR ハンドブック

[平成27年4月1日～平成27年9月30日]

特集

新タグラインとブランドロゴデザインを策定

## 株主の皆さまへ



代表取締役社長

山口 栄一

### AGPグループ企業理念

**AGPグループは、  
技術力を極め、  
環境社会に貢献します。**

- 環境に優しく、安全で豊かな社会の実現に貢献します
- お客様に選ばれる技術・サービスを誠実に提供し企業価値を高めます
- 燃える挑戦心を持った社員とともに成長します

商号「エージーピー」: 空港地上動力の英語訳である Airport Ground Powerの頭文字を表したものです。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に鈍い動きもみられますが、企業収益は改善しており、緩やかな回復基調が継続しました。先行きについては、各種政策の効果により、緩やかに景気が回復していくことが期待されています。訪日旅客数は過去最高を更新しているなか、国際線の路線開設・増便が進み、航空需要は堅調に推移しています。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、動力事業、整備事業、付帯事業の全セグメントにおいて増収となり、売上高は前年同期比3億16百万円(6.3%)増の53億17百万円となりました。営業費用につきましては、動力事業の原材料費が原油価格の下落等により減少し、整備事業、付帯事業の売上増加により原材料費が増加する一方、費用の抑制にも努め、前年同期比2億45百万円(5.1%)増の50億16百万円となりました。

この結果、営業利益は前年同期比71百万円(31.1%)増の3億1百万円、経常利益は前年同期比72百万円(32.5%)増の2億97百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比61百万円(52.3%)増の1億79百万円となりました。

当社グループは本年12月に創立50周年を迎えるにあたり、新たに制定した「AGPグループ企業理念」「長期ビジョン2025」、およびその実行計画「2015-2019年度中期経営計画」に基づき、新規事業を含む各事業の重点施策に注力しています。この取組みを加速するための施策の一つとして、このたび、新たなタグラインとブランドロゴデザインを策定しました(詳細は次ページをご参照)。この新たな旗印のもと、AGPグループ一丸となり、企業価値向上へ向けた取組みに邁進してまいります。

2016年3月期の連結業績見通しにつきましては、期初に公表した通り、売上高は前期比12.5%増の120億円、営業利益は同2.7%増の8億円、経常利益は同9.4%減の7億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同2.0%減の4億60百万円を見込んでいます。

株主の皆さまには、今後とも格別のご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ○ 新タグライン

## 空を想い、技術を極め、環境社会を創る。

新タグラインの作成にあたっては、企業理念のもと、当社グループが①空港出自であり自然や環境をイメージできること、②高い技術力を今後も磨き続けること、③引き続き環境社会へ貢献すること、④新規事業へ取り組み事業範囲を広げていくこと、の4点に思いを込め、このフレーズに決定しました。

### ○ 新ブランドロゴデザイン



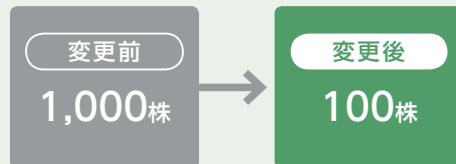
タグラインとともに、新ブランドロゴデザインを策定しました。燃える挑戦心を表し、色調をシャープにした赤色のロゴマークに、今後も航空産業の安全と発展に貢献し続ける真摯な企業姿勢を深い紺色で表すとともに、環境にやさしく、持続的社會に貢献する事業活動を、丸味を帯びたデザインで表現しています。

### 株主の皆さまへのお知らせ

## 単元株式数を1,000株から100株に変更しました。

このたび当社は、投資家の皆さまにとってより投資しやすい環境を整備し、当社株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図るとともに、全国証券取引所の「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。これにより、当社株式は証券市場において100株単位での売買が可能となっております。

### ○ 単元株式数の変更



※2015年10月1日付

## ひと目でわかるAGP ―事業別概況と今後の取組み―

## セグメント別売上高(連結)

動力  
事業

2,689百万円

50.6%

整備  
事業

1,964百万円

36.9%

付帯  
事業

662百万円

12.5%



動力事業 セグメント利益(連結) 441百万円 (前年同期比+121百万円)

整備事業 セグメント利益(連結) 215百万円 (前年同期比+14百万円)

付帯事業 セグメント損失(連結) △28百万円 (前年同期比△39百万円)

連結営業利益 301百万円 (前年同期比+71百万円)

## 動力事業

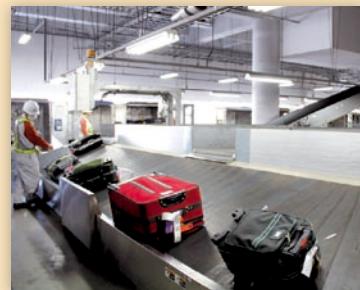
航空機への動力(電力・冷暖房気・圧搾空気)の供給や、航空機用動力供給設備の設計・施工、運用管理を行っています



GPU固定式：電力

## 整備事業

空港における建物・諸設備の保守・維持管理や、発着支援設備など特殊設備のメンテナンスを行っています



手荷物搬送設備

## 付帯事業

フードカート事業や空港セキュリティ機器保全事業、GSE(Ground Support Equipment)関連事業のほか、新規事業として、低カリウム野菜等のフランチャイズ運営、生産・販売、ビジネスジェット支援事業を行っています



EH加熱カート



低カリウムレタス

## ○ 2016年3月期第2四半期累計期間の概況

売上高 **26億89百万円** 2.2%増 

ボーイング787型機に合わせた設備の増強を着実に実施したこと、電力および冷暖房気供給機会が増加したこと等により、国内大手航空会社の売上が増加し増収

セグメント利益 **4億41百万円** 37.9%増 

減価償却費の減少および電力料金等の原材料費値下げにより増益

## ○ 対処すべき課題

- 設備設置形態や仕様の見直しを行い、投資コストの低減を図りつつ、着実かつ適切に設備投資を行い、空港インフラ設備の充実を図る
- 当社動力設備の使用率向上に向けて、シェア拡大が著しいLCC各社向けのビジネスモデル構築や、お客さまの立場にたった営業活動を展開することで、使用率の向上を図る
- 国土交通省の提唱するエコ・エアポート施策にも全社を挙げて積極的に参画し、関係先との連携強化と航空燃料の消費削減によるCO<sub>2</sub>排出抑制を通して、環境社会へ貢献

## ○ 2016年3月期第2四半期累計期間の概況

売上高 **19億64百万円** 7.4%増 

主として成田空港における特殊機械整備工事の増加および施設設備工事の増加により増収

セグメント利益 **2億15百万円** 7.0%増 

売上の増加により原材料費が増加したものの増益

## ○ 対処すべき課題

- 全国カバーのネットワーク、24時間運営体制等、当社の強みをアピールした提案型、総合サービス提供型へのビジネスモデル転換を推進
- 異業種パートナーとの協業により、国内地方空港の運営主体や、アジア地域における空港の新設・拡張計画に対する技術支援および空港外業務への進出を目指す

## ○ 2016年3月期第2四半期累計期間の概況

売上高 **6億62百万円** 22.8%増 

フードカート本体の販売増加、低カリウムレタスの増産と取扱販売店舗の拡大等により増収

セグメント損失 **△28百万円** 

開始間もない低カリウム野菜の生産・販売事業が営業損失となっていることにより減益

## ○ 対処すべき課題

## フードカート事業

- リピート需要の確実な取込みを図る一方、新製品の市場投入により、今後増加が見込まれるサービス付高齢者住宅等の新規市場を開拓
- 全国の支社・支店を活用したアフターメンテナンス・販売体制を構築し、収益力を向上

## 空港セキュリティ機器の保守管理

- 空港の安全を守るために培った技術を活かし、メーカーや代理店との連携を強化。新型セキュリティ機器の導入や更新へ着実に対応し、空港内外の市場を開拓

## 低カリウム野菜等の植物工場事業、ビジネスジェット支援事業等新規事業

- 工場の早期安定稼働と効率的運営体制の構築を図るほか、植物工場ビジネス関連のコンサルティングや工場内設備保守管理等の業務領域拡大に努める。低カリウム野菜の販売会社では販路拡大に向け積極的な営業展開を図る
- 成田空港で開始したビジネスジェット支援事業はサービス領域を拡大。その他既存事業で培った技術やノウハウを活用し、さらなる事業領域の拡大へ

## ビジネスジェット機のクリーニングサービスを開始!

1

新規事業の1つとして本年2月に成田空港で開始したビジネスジェット支援事業では、専用格納庫を用いた駐機スペースの提供や、航空機電源供給サービスを展開しています。同事業のさらなる拡大へ向けて、本年9月、ビジネスジェット機のクリーニングサービスを開始しました。

### ビジネスジェット機クリーニングサービスの強み&特徴

- ビジネスジェット機に特化したクリーニングサービスを海外より導入し、本格的に提供するのは国内では当社のみであり、競争が少ない。
- 機体外装の清掃、主翼及び尾翼等の非塗装部の研磨作業、機内の革製品(本革シート等)のフリーニング等、ビジネスジェット機的美観を保つための豊富なメニューを用意。
- 米国で十分な使用実績がある高品質の洗剤の使用に加え、当社ならではのきめ細かで丁寧な仕上げにより、満足度の高いサービス品質を提供。
- 当社格納庫の駐機サービスご契約者に対し、クリーニングを計画的に行えるプログラムを特別価格で提供。



機体外装の清掃や非塗装部の研磨作業など、機体的美観を保つクリーニングサービス



## 「エコプロダクツ2015」に出展します!

2



GPUのモックアップ  
(※写真は前回出展時のものです)

本年12月10日から開催される「エコプロダクツ2015」に出展します。同展は、一般の方々もご来場いただける日本最大級の環境展示会です。当社も、コア事業として注力している環境への取組みをより具体的にお伝えするべく、GPUのモックアップ(模型)や、フードカートを展示します。普段はご覧いただくことのできない当社ビジネスの一端に触れていただけるチャンスですので、是非ご来場ください。

会 期	2015年12月10日(木)～12月12日(土)
会 場	東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場) 東3ホール 3-001(「空港ブース(他社との共同出展)」)
当社展示品	GPUモックアップ、フードカート等

## 個別財務諸表

AGP CORPORATION

(単位:百万円)

## ○ 第2四半期貸借対照表

	当四半期 2015年9月30日現在	前期 2015年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	5,505	5,262
現金預金	1,789	1,900
受取手形	0	10
営業未収入金	1,478	1,891
リース投資資産	356	364
有価証券	500	—
製品	162	69
仕掛品	151	48
貯蔵品	530	510
短期貸付金	130	130
前払費用	113	110
繰延税金資産	81	67
その他の流動資産	212	158
固定資産	5,857	6,074
有形固定資産	4,641	4,856
無形固定資産	77	89
投資その他の資産	1,138	1,128
資産合計	11,362	11,336
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	2,374	2,288
営業未払金	1,146	982
短期借入金	310	260
一年以内返済長期借入金	336	336
一年以内返済リース債務	36	48
未払法人税等	143	133
未払消費税等	0	73
未払金	111	204
未払費用	260	218
その他の流動負債	30	31
固定負債	2,286	2,440
長期借入金	1,123	1,281
リース債務	80	99
製品保証引当金	11	15
退職給付引当金	1,027	1,003
資産除去債務	42	38
その他の固定負債	0	0
負債合計	4,661	4,728
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	6,646	6,564
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	114	114
利益剰余金	4,494	4,411
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	54	43
純資産合計	6,701	6,607
負債純資産合計	11,362	11,336

(単位:百万円)

## ○ 第2四半期損益計算書

	当四半期累計 2015年4月 1日～ 2015年9月30日	前四半期累計 2014年4月 1日～ 2014年9月30日
売上高	5,079	4,874
売上原価	4,423	4,335
売上総利益	655	539
販売費及び一般管理費	327	302
営業利益	327	236
営業外収益	6	11
受取利息	0	0
受取配当金	4	3
その他の営業外収益	1	7
営業外費用	11	15
支払利息	11	13
リース支払利息	0	1
その他の営業外費用	—	0
経常利益	322	233
特別損失	0	12
固定資産除却損	0	11
固定資産除却費	—	0
税引前四半期純利益	322	221
法人税、住民税及び事業税	132	81
法人税等調整額	△ 18	4
四半期純利益	208	135

## 連結財務諸表

(単位:百万円)

## 第2四半期連結貸借対照表

	当四半期 2015年9月30日現在	前期 2015年3月31日現在
<b>1 【資産の部】</b>		
流動資産	5,495	5,445
現金及び預金	2,219	2,429
受取手形及び営業未収入金	1,553	1,957
有価証券	500	—
商品及び製品	164	70
仕掛品	155	53
原材料及び貯蔵品	539	521
その他	364	413
固定資産	6,457	6,686
有形固定資産	5,015	5,248
建物及び構築物(純額)	2,304	2,451
機械装置及び運搬具(純額)	1,958	2,097
その他	752	698
無形固定資産	198	218
投資その他の資産	1,243	1,218
資産合計	11,953	12,131

	当四半期 2015年9月30日現在	前期 2015年3月31日現在
<b>2 【負債の部】</b>		
流動負債	1,944	2,046
営業未払金	626	548
1年内返済予定の長期借入金	336	336
未払法人税等	199	156
その他	783	1,005
固定負債	3,174	3,308
長期借入金	1,192	1,350
退職給付に係る負債	1,823	1,773
資産除去債務	65	68
その他	92	115
負債合計	5,119	5,354
<b>3 【純資産の部】</b>		
株主資本	6,807	6,754
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	114	114
利益剰余金	4,655	4,601
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	26	4
純資産合計	6,833	6,776
負債純資産合計	11,953	12,131

## 1 資 産

前期末に比べ1億78百万円(1.5%)減少し、119億53百万円になりました。

**流動資産** 前期末に比べ50百万円増の54億95百万円

- 主な要因
- 現金同等物としての有価証券が5億円、商品及び製品、仕掛品等の棚卸資産が2億13百万円増
  - 現金及び預金が2億10百万円、受取手形及び営業未収入金が4億3百万円減

**固定資産** 前期末に比べ2億28百万円減の64億57百万円

- 主な要因
- 投資その他の資産が24百万円増
  - 減価償却の進行により有形固定資産が2億32百万円、無形固定資産が20百万円減

## 2 負 債

前期末に比べ2億35百万円(4.4%)減少し、51億19百万円になりました。

**流動負債・固定負債** 前期末に比べ1億1百万円減の19億44百万円

● 流動負債は前期末に比べ1億1百万円減の19億44百万円

● 固定負債は前期末に比べ1億33百万円減の31億74百万円

- 主な要因
- 営業未払金が78百万円、退職給付に係る負債が50百万円増
  - 未払金が91百万円、その他に含まれる未払消費税が1億17百万円減
  - 流動負債・固定負債を合算した長期借入金が1億58百万円減

## 3 純 資 産

前期末に比べ57百万円(0.8%)増加し、68億33百万円になりました。

主な要因 ➤ 利益剰余金が53百万円増

(単位:百万円)

第2四半期連結損益計算書

当四半期累計 2015年4月 1日～ 2015年9月30日	前四半期累計 2014年4月 1日～ 2014年9月30日
-------------------------------------	-------------------------------------

売上高	5,317	5,000
売上原価	4,540	4,400
売上総利益	777	600
販売費及び一般管理費	475	370
4 営業利益	301	229
営業外収益	9	11
営業外費用	13	16
4 経常利益	297	224
特別損失	0	12
税金等調整前四半期純利益	297	212
法人税、住民税及び事業税	187	102
法人税等調整額	△ 50	△ 7
四半期純利益	160	117
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 18	—
5 親会社株主に帰属する四半期純利益	179	117

(単位:百万円)

第2四半期  
連結キャッシュ・フロー計算書

当四半期累計 2015年4月 1日～ 2015年9月30日	前四半期累計 2014年4月 1日～ 2014年9月30日
-------------------------------------	-------------------------------------

営業活動によるキャッシュ・フロー	857	575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 254	△ 986
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 313	△ 350
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	289	△ 762
現金及び現金同等物の期首残高	2,429	2,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,719	2,227

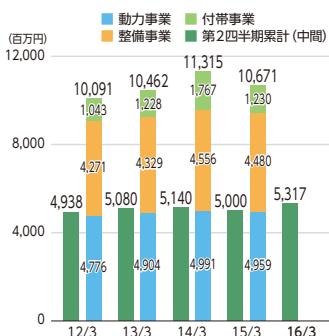
4 営業利益・経常利益

- 増収および売上原価率の改善等により、営業利益は31.1%増
- 経常利益は支払利息の減少等により32.5%増

5 親会社株主に帰属する四半期純利益

固定資産除却損の減少等により、52.3%増

売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



総資産・純資産



# 株式の状況 (2015年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	52,000,000 株
発行済株式総数	13,950,000 株
株主数	562 名
単元株式数	1,000 株 <sup>※1</sup>

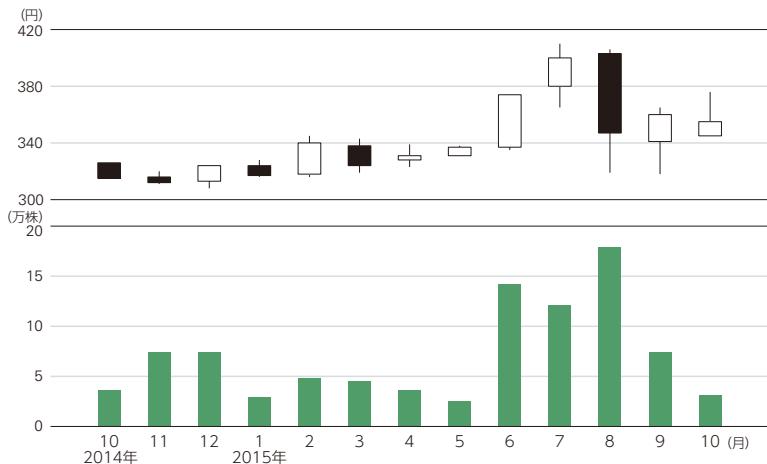
※1 本年10月1日より、単元株式数を100株に変更しております。

## 大株主

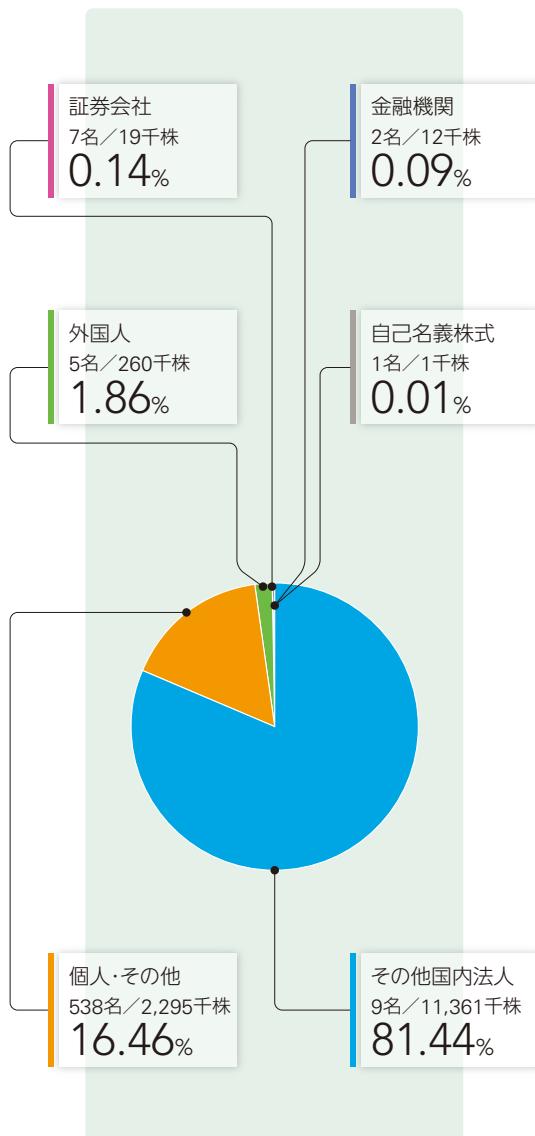
株主名	持株数	持株比率 <sup>※2</sup>
日本航空株式会社	4,651,000 株	33.34 %
三菱商事株式会社	3,740,000 株	26.81 %
ANAホールディングス株式会社	2,793,000 株	20.02 %
エージーピー社員持株会	450,000 株	3.22 %
SCBHK AC DBS VICKERS (HK) LIMITED - CLIENT A/C	229,000 株	1.64 %
城 暎男	104,000 株	0.74 %
栗原工業株式会社	86,000 株	0.61 %

※2 持株比率については、自己株式(1,950株)を控除して算出しております。

## 株価および株式売買高の推移(月足)



## 株式の分布状況



# 会社概要

(2015年9月30日現在)

AGP CORPORATION

## 会社概要

商号 株式会社エージーピー  
AGP CORPORATION

本社 〒144-0041  
東京都大田区羽田空港一丁目7番1号  
TEL. 03-3747-1631  
FAX. 03-3747-0707  
E-mail info@agpgroup.co.jp

最寄駅 東京モノレール羽田線 整備場駅 下車3分

設立 1965年12月16日／  
日本空港動力株式会社設立  
2000年9月1日／  
株式会社エージーピーに商号変更

資本金 20億3,875万円

社員数 614名(連結)／176名(個別)

会計監査人 新日本有限責任監査法人

## 役員

代表取締役社長	山口	栄一
専務取締役	早川	正英
常務取締役	丸山	均
取締役	小林	正樹
取締役	村尾	学
取締役	畑山	博康
社外取締役	佐々木	かをり*
常勤監査役	小澤	秀之
社外監査役	長谷川	正人
社外監査役	浅木	純*
社外監査役	丹治	康夫

\*東京証券取引所の定めに基づく独立役員

## エージーピーグループ(連結子会社)

株式会社エージーピー沖縄	株式会社エージーピー開発
株式会社エージーピー関西	株式会社エージーピー北海道
株式会社エージーピー九州	株式会社エージーピー中部
株式会社エージーピーアグリテック	
ドクターベジタブルジャパン株式会社	

## ネットワーク

本社 - 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号  
TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707

成田支社 - 千葉県成田市三里塚御料牧場1-1  
(日本航空成田第一ハンガー内)  
TEL.0476-32-8775 FAX.0476-32-8779

羽田支社 - 東京都大田区羽田空港三丁目1番2号  
TEL.03-5757-9447 FAX.03-5757-9191

関西支社 - 大阪府泉南市泉州空港南1番地  
(日本航空輸出貨物ターミナル)  
TEL.072-456-6101 FAX.072-456-6107

千歳空港支店 - 北海道千歳市美々(新千歳空港内)  
TEL.0123-46-5858 FAX.0123-24-9213

中部空港支店 - 愛知県常滑市セントレア一丁目1番地  
(中部国際空港内)  
TEL.0569-38-0286 FAX.0569-38-8165

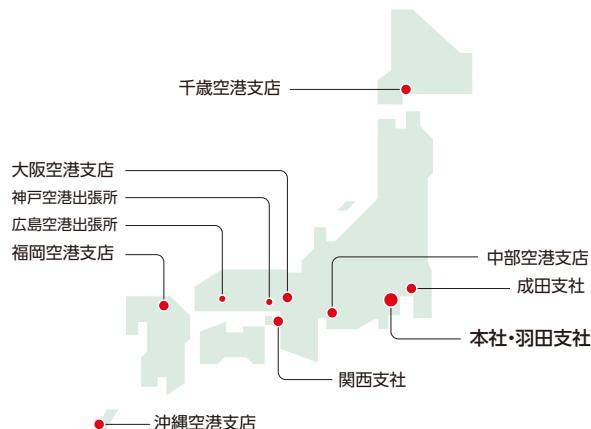
大阪空港支店 - 大阪府豊中市蛍池西町三丁目555番地  
(大阪国際空港内)  
TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490

神戸空港出張所 - 兵庫県神戸市中央区神戸空港4-1  
TEL.080-5075-5932

福岡空港支店 - 福岡県福岡市博多区上臼井柳井348番地  
(福岡空港内)  
TEL.092-621-9124 FAX.092-629-1974

広島空港出張所 - 広島県三原市本郷町善入寺64番31(広島空港内)  
TEL.0848-60-8311

沖縄空港支店 - 沖縄県那覇市鏡水150番地(那覇空港内)  
TEL.098-858-0291 FAX.098-859-4229



## ○ ホームページのご紹介

<http://www.agpgroup.co.jp/>

当社ホームページでは、会社概要、IR情報、製品・サービスや採用情報など様々な情報を掲載しております。

特に株主・投資家の皆さまに向けましては、決算短信、IRハンドブック等のほか、最新のIRニュースや株価情報なども掲載しております。ぜひご覧ください。また皆さまのご意見・ご要望もお待ちしております。



## ○ 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
同総会権利行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
基準日	毎年3月31日 そのほか臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

## 株式会社 エージーピー

〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号  
TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707  
URL: <http://www.agpgroup.co.jp/> E-mail: [info@agpgroup.co.jp](mailto:info@agpgroup.co.jp)

### ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行本支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ご案内

#### ● 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

※本ご案内は平成27年9月時点の情報をもとに作成しております。



本冊子はリサイクルペーパーを使用しております。